

第二次筑紫野市環境基本計画年次報告書（令和元年度版）に対する意見の概要と回答について

意見	回答
<p>「環境指標の森」のモニタリングについて、とても重要かつ継続されるべきものであると思う。結果について簡単に紹介されているが、地域の自然史の基礎として非常に価値あるものであることから、非公開とすべき希少種の情報は除いた上で、ホームページ等での公表を希望する。</p>	<p>「環境指標の森」におけるモニタリング結果の公表については、調査方法を含めて本市の自然環境の保全につながるものとなるよう検討していきます。</p>
<p>天拝山歴史自然公園における湿地等の保全は、素晴らしい取り組みであると思う。どのような保全活動を行っているのか、どのような成果があったのかについて、継続的な公表を希望する。</p> <p>また、「レッドデータブック」について、「RDB」という表記をされているが、わかりにくいと感じるため、レッドデータブックについての解説を入れるとよいと思う。</p>	<p>天拝山歴史自然公園における湿地等については、公園の適正な管理を行い保全しています。現場の状況等について、必要に応じて報告していきたいと考えています。</p> <p>レッドデータブックの表記については、初出部分について正式名称を記載いたします。</p>
<p>「環境教育副読本」について、とてもわかりやすい構成でいいと思う。子供たちにもよく伝わる内容であるため、今後も継続して発行してほしい。</p>	<p>本冊子は、環境学習教材として、市内の小学4年生を対象に配布しているものです。今後も、教材としてわかりやすく、学習を深められるような内容となるよう、努めていきます。</p>